

# 令和5年度 和歌山市立西和中学校 学校運営計画書(スクールプラン)

校長名 川 嶋 幸 夫 作成日 令和5年4月14日

## 和歌山市学校教育指針

- 確かな学力の育成
- 道徳教育の充実
- 健やかな体の育成
- 特別支援教育の推進
- 不登校・いじめ問題の解消
- 子どもの安全確保の徹底
- 地域と共にある学校づくりの推進

## 保護者・地域の願い

- 生徒の学力を定着させてほしい
- 明るく楽しい学校にしてほしい
- 相手の気持ちがわかり、ひとりひとりが大切にされる学校にしてほしい
- 地域に誇りをもってほしい

## 【学 校 教 育 目 標】

真剣に生きる  
～からだと心と学力を育てよう～

## 【めざす生徒像】

- ・心豊かで心身ともに強い生徒
- ・人権を尊重し、いじめや差別をゆるさない生徒
- ・よく考える生徒

## 前年度の学校評価

- 授業改善が進んでいる(学び合い)
- 学校の様子が保護者・地域等によくわかるようになってきた
- 地域との連携について弱さがある

## 生徒の実態

- あいさつができる
- 時間を守って行動できる
- 常に相手のことを考え、行動できる
- 最後まで粘り強く取り組む力が弱い
- 家庭学習(復習)の定着率が低い

### 重点目標

#### 確かな学力の向上

- 基礎・基本の確かな定着
- 生徒主体の授業の推進
- 家庭学習(復習)の定着
- 読書活動の推進

#### 豊かな心の育成

- 人権・同和教育の充実
- いじめの未然防止、早期発見
- 仲間づくりの実施
- 道徳教育の充実

#### 健やかな体の育成

- 体力向上の推進
- 基本的生活習慣の確立
- 危機回避能力の育成

#### 地域とともにある学校

- 家庭・地域との連携充実
- 保幼小の接続、中学校区における学校間連携の推進
- 地域の資源活用の推進

### 具体的な取組

- 学びのルールと粘り強く考える学習習慣の定着を図る
- 「和歌山の授業づくり基礎・基本3か条」を徹底させた授業を行う
- 家庭学習の手引きを作成し、活用するとともに、保護者と協力しながら定着を図る
- うちどくコーナーの充実、図書室の運営を活発化させる
- 朝読の徹底を図る
- 基礎学力講座の充実

- 人権・同和教育の特設授業の見直し、充実を図る
- いじめアンケートを年間に3回以上実施し、教育相談も年3回以上行う。いじめの未然防止・早期発見早期対応に努める
- 情報モラルやネット社会に潜む危険性について、保護者とともに学ぶ機会をもつ
- 道徳科の授業を確実に行う。学年の教員によるローテーション授業の実施

- 体育の授業の充実を図る
- 体育的行事の見直し充実を図る
- 今まで以上に「早寝、早起き、朝ごはん」を推奨する
- 避難訓練や交通安全教室や救急救命講習等を計画的に行い、危機回避能力を育成する
- 救急救命講習の継続
- 避難訓練の徹底
- 感染症対策の徹底

- 各種便り、teturu、HP等を通して積極的に学校の情報を発信するとともに、感染症対策を講じ授業や行事等を積極的に公開する
- 地域活動へ参加し、積極的な交流を推進し、多様な生き方を学ぶ
- 保幼小の接続、中学校区での幼小、小中の連携を推進・充実する(特に外国語教育について)
- 授業のゲストティーチャー、クラブ講師等の人材や、地域の自然・文化を積極的に活用する

### 指標

- ・県到達度調査の知識・技能の問題の正答率が県平均を上回る
- ・わかる授業、生徒主体の授業を実践したと思う(生徒・教師95%)

- ・学校が楽しいと感じる(生徒95%)
- ・道徳の授業におけるローテーション授業の確立。
- ・いじめ解消率100%

- ・朝ごはんを食べたについて、今年度100%にする
- ・積極的に運動を行うよう計画し、実践できた(教師95%)
- ・部活動の充実を目指した取組

- ・学校の様子がよく伝わった(保護者80%)
- ・中学校区で接続、連携した取組を具体的に実践できた(教師90%)

◎：特に重点的に取り組むこと